



タイヤは、 もう一度タイヤになる。

タイヤは溝が浅くなってしまっても、
寿命が終わったわけではありません。
地面に接するトレッドゴムを貼りかえることで生まれ変わることができる。
それがリトレッドという技術です。
原材料が約1/3*に節約できるのと同時に廃タイヤの削減にもつながり、
省資源化に貢献しています。
ブリヂストンは、ゴムだけでなくタイヤの骨格となるスチールコードまでを
厳格な品質管理のもと自社生産しており、
リトレッドタイヤになった後の安全性能まで追求しています。
欧米では広く普及しているこの技術、
日本でもトラック・バス用のタイヤで利用が広がりつつあります。
限られた地球の資源と発展を続ける日本の輸送業界、
その両方に技術で貢献することがブリヂストンの願いです。

【トラック・バス用タイヤがリトレッドされるまで】

イラストはイメージ図です。

①溝が浅くなったタイヤ

②ゴムを貼りかえる

③リトレッドタイヤの完成



地面に接するトレッドゴムを
削り取り、台タイヤとします。

その台タイヤに、新しいトレッド
ゴムを貼りかえます。

耐圧検査など徹底した品質
チェックの後、お客さまのもとへ。

*詳しくはカタログをご参照ください。

One Team, One Planet.

地球のために、ひとつになる。



未来のすべての子供たちが
『安心』して暮らしていけるために・・・